

定員化部品規格

GM 部品番号併記

平行キー
Feather keys主 管：開発技術企画部
技 術 情 報 G
制 定：1938 年 5 月 1 日
最終改：2013 年 10 月 7 日

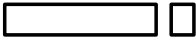
1. 適用範囲

この規格は、主として自動車に用いる平行キー（以下キーという。）について規定する。

2. 種 類

キーの種類は、表 1 に示す両角形、高形とする。

表 1 キーの種類

端部形状	高さ
両角形 	高形

3. 形状・寸法

キーの形状及び寸法は、付表 1 による。参考にキーの溝寸法を附属書 A（参考）に示す。

4. 材料及び硬さ

キーの材料は、JIS G 4051 の S50C 又は S53C とする。製品の硬さは 248HB~302HB（261HV~319HV）とし、製品の脱炭深さは 0.3mm 以下とする。

5. 表面処理

表面処理は施さない。

6. 外 観

キーの外観には、部品の機能又は使用性を損なう割れ、きず、まくれ、さびなどの欠陥があつてはならない。判定は、品質管理担当部署による。

7. 部品番号

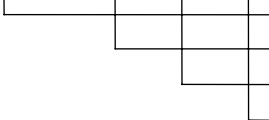
部品番号は、付表 2 の部品番号表による。

部品番号の付番の原則は、表 2 の 品目番号 に サイズ番号（幅番号・長さ番号） ・ 変更サフィックス番号 を連記して表す。

表 2 品目番号

品目番号	品目	部品番号表
90803-	両角形、高形	付表 2

〔例〕 9 0 8 0 3 - 0 5 2 2 0



：品目番号
：幅（b = 5mm）…表 3 幅番号表による。
：長さ（ℓ = 22.4mm）…表 4 長さ番号表による。
：変更サフィックス番号

表 3 幅番号表

幅 (b)	4	5	7	8	10	12	18
幅番号	04	05	07	08	10	12	18

表 4 長さ番号表

長さ (ℓ)	10	12.5	16	18	20	22.4	25	28	30	35.5	40	43	45	50	60	63	70	80
長さ 番号	10	13	16	18	20	22	25	28	30	35	40	43	45	50	60	63	70	80

8. 寸法・幾何公差の測定方法

キー及びキー溝の寸法及び幾何公差の測定方法は、JIS B 1301 の 7.3.1 平行キーによる。

9. 環境負荷物質

使用制限及び報告義務のある物質は、ISA-A00-008Y による。

10. 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発行年を付記しているものは、記載の年版だけがこの規格を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発行年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。ただし、いすゞ技術規格については、規格番号に変更サフィックスをもつものはその指定版により、サフィックス Y が付記されたものはその最新版による。

ISA-A00-008Y

部品への使用制限や報告義務のある物質

JIS B 1301:1996

キー及びキー溝

JIS G 4051:2009

機械構造用炭素鋼鋼材

11. 付 則

この規格は 2013 年 10 月 7 日から施行する。この規格の施行により、2007 年 11 月 19 日改正の ISD-E02-001F 平行キーを廃止する。

関連標準：

IST-S014-001Y（社内用）KEY; FEATHER

2013 年 10 月 7 日改正時の要点

5. 表面処理の項を追加する。
- GM 部品番号併記は、GM 式部品番号（10 桁）から GM 部品番号（8 桁）に変更する。これに伴い、旧 6.2 項および 6.3 項を削除する。
- 引用規格 JIS G 4051:2005 は JIS G 4051:2009 に変更する。
- 付表 2 の部品番号表において、※印で再使用禁止部品に指定した品番についてユーセージの調査を行った。その結果、現用車型にユーセージの無い品番を確認したので、改めて IST 部品規格（社内用）にて「再使用禁止部品（×）」に設定し、新たな使用を禁止とする。
これらの品番は付属書 B（参考）を設定して、こちらに移行する。（16 品番）
- 付表 2 の注記“部品番号表にないサイズを使用したい場合の検索方法”，“品番申請手続き”に関する記述をわかり易いよう変更する。
- 参考表 キー溝寸法は付属書 A（参考）を設定して、こちらに移行する。
- 規格本体より解説を分離する。

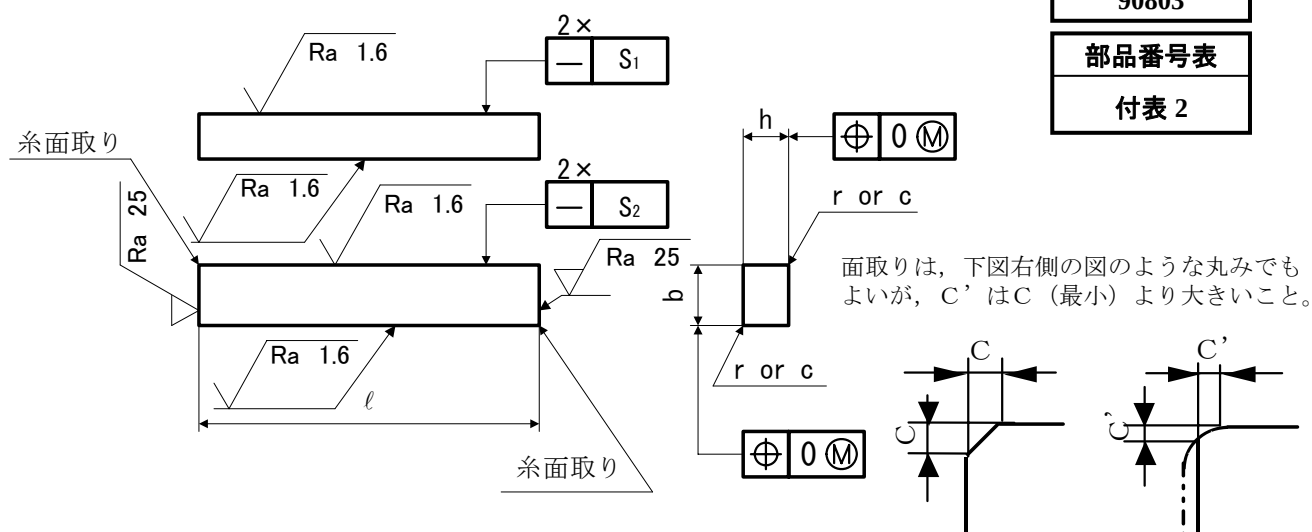
付表 1 KEY; FEATHER

品目番号

90803

部品番号表

付表 2



単位: mm

キーの呼び (b×h)		4×4	5×5	7×7	8×7	10×8	12×8	18×12
b	基準寸法	4	5	7	8	10	12	18
	公差	+0.024 +0.012		+0.030 +0.015			+0.036 +0.018	
h	基準寸法	4	5	7	7	8	8	12
	公差	+0.024 +0.012		+0.030 +0.015	0 -0.07			0 -0.10
r or c (最小)		0.5				0.8		1.2
S ₁		S ₁ = b の公差×1／2						
S ₂		S ₂ = h の公差×1／2						
長さ (ℓ)		長さ (ℓ) は、7. 表 4 の長さ番号表より選んで使用する。						
推奨する 長さ範囲		10－43	10－60	16－80	20－80	20－80	22.4－80	35.5－80
(参考) 適用軸径		10 以上 13 以下	13 を超 20 以下	20 を超 25 以下	22 を超 30 以下	30 を超 40 以下	40 を超 50 以下	60 を超 70 以下

長さ (ℓ) の公差は、下表とする。

単位: mm

長さ (ℓ)	6.3~16	18~63	70~80
公差	±0.2	±0.3	±0.5

定員化部品規格

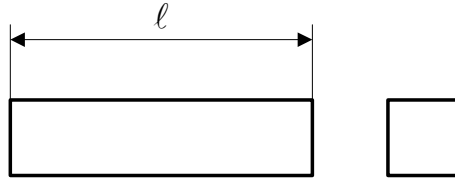
付表 2 KEY; FEATHER
両角形, 高形

部品番号表

GM 部品番号併記

品目番号

90803



※ 下表各行で, 上段: いすゞ部品番号を表示し,
下段: GM 部品番号を参考表示する。

キーの呼び (b×h) ℓ	4×4	5×5	7×7	8×7	10×8	12×8	18×12
10	9080304100 (94005111)						
12.5	—		9080307130 (94008030)				
16	—	—	9080307160 (94008031)				
18			9080307180 (94008032)		—	—	
20		—	—				
22.4		9080305220 (94005114)					
25			—		—	9080312250 (94008042)	
28			—				
30			9080307300 (94008036)	9080308300 (94009898)			
35.5					—		—
40					9080310400 (94002559)		
43			9080307430 (94008037)				
45							—
50					—		
60							
63				9080308630 (94008504)			
70						—	—
80							

注記1 キーの呼び (b×h) に対して推奨する長さ(ℓ)は, 太枠線内 (網掛け) のものとする。

注記2 上表の部品番号表にないサイズを使用したい場合には, 標準閲覧DB の本規格に”添付”する設計重量情報 (Excel ファイル) の部品番号一覧を検索して, その中から選択して使用すること。部品番号一覧に使用したい部品がない場合には, **270-R-01** (社内用) 定員化部品の運用規定に基づき, 定員化部品の新設計認可手続きを行い, 新規部品番号を取得すること。

注記3 最新改正時の再使用禁止部品は, **附属書B (参考)** による。